

議会報告会実施報告書

開催日時		令和7年4月20日 15時00分 ～ 16時30分
開催場所		東部集会所
出席議員		鳥飼由衣 小笠原浩 植原泰 山下真司 丸岡豊和 若谷修治 茨智仁 斉藤義明 大前寛乗 (司会) 植原泰 (説明) 植原泰 山下真司 斉藤義明 大前寛乗 (記録) 鳥飼由衣 (副議長) 丸岡 豊和
参加市民数		18人
実施内容	次第	・開会挨拶 副議長 丸岡 豊和 ・議会報告 予算の概要及び主要事業の概要 ・質疑応答 ・意見交換 ・閉会挨拶 大前 寛乗
	質疑応答	質) 人工土地の耐震について一向に進んでいない状況にあるが、どのように考えているのか。 答) 複雑な構築になっており、国費を使って市営住宅や民間部分と3つの権利をもっているので、協議を重ねている。安心・安全に暮らしてもらうためにも最低限の耐震は随時調査し議会としても注視していく。 質) 公園の駐車場整備は 答) 現状ないところも多くある。新たに田尾坂公園に駐車場を設置した。車社会なので今後も駐車場整備を進め利用しやすくする必要がある。 質) 坂出市のふるさと納税の収入は？ 答) 年間6億弱。始めたころは300万～400万だったが、鎌田醤油を商品として取り入れたことで売り上げがあがっている。 質) 議員定数について多いのではないか。 答) ささまざまな意見がある中でこれまでも議論を重ねている。次の選挙では1議席減が決定している。多くの課題を抱えている中で行政側と対決するのに何人が必要か。また3つの常任委員会があるので適正人数は何人か。慎重に引き続き議論を重ねていく。

意見交換

テーマ「安全・安心で住みやすいまちづくり」

1 班

- ・ 子供・老人のすみやすい街に
- ・ 旧市内では老人が多く子供が少ない。子供会の広域化をしてみてもいい。
- ・ 若い世帯や子供が徒歩、自転車で行ける範囲に番の州公園のような緑地公園がない。
- ・ まんのう公園などでほかのクラブとの交流をしたい。
- ・ 食事場所が少ない。
- ・ 外国人居住者が増えている。外国人との自然な交流ができるようにしたい。
- ・ ペットの散歩ができるような場所を。
- ・ 王越の海岸道路延長工事の完成はいつごろか。
- ・ 西運河の利用について
- ・ トイレの洋式化
- ・ イノシシ対策

2 班

- ・ 防災にもっと力を入れろ。駅前周辺開発ばかりに金をかけないでほしい。
- ・ 避難所の環境・設備をよくする。
- ・ 自主防災会の資機材の保管場所の確保が難しい。
- ・ 消火器の全戸配布を。
- ・ 緩衝緑地公園の開発中止を。無駄に税金を使わないでほしい。
- ・ 緩衝緑地の必要性は。利用者がいるのか。
- ・ 先月まちづくりワークショップに参加したが、イメージイラストが嘘のようである。無駄な税金は使わないでほしい。
- ・ 市立病院の跡地に大学を誘致してほしい。若者が増えるのでは。
- ・ 大橋まつりの踊り参加者が減っている。また、地味すぎる。もっと活気のある祭に。
- ・ 花火大会の観客対策は。有料席を設けては。
- ・ イオン休止中の対策。買い物をする年寄りが困っている。駅前広場等で何かできないか。
- ・ 市役所の対応が悪く、腹が立つ。
- ・ 駅前の開発に手がついておらずいつ取り掛かるのか知りたい。
- ・ 駅前の整備が終わったら旧市街地はどのようなになるのか。
- ・ 市民ホールに駐車場がない。
- ・ 人工土地西側の雑然とした植木が見苦しい。センスがない。
- ・ 子供の遊び場として鳥洲神社に集まっているが、遊具が古くて危険。

- ・空き家が多く、防犯・防災面が心配である。
- ・自治会加入者の減少、また役を引き受けてくれる方の高齢化があり成り手がいなくなっている。
- ・水路掃除等を個人でやってくれていた方が高齢化に伴いできなくなっている。
- ・市街地に出るイノシシ対策を。
- ・猫の去勢費用補助をもっと増やしてほしい。
- ・21時以降、タクシーが無くて困っている。
- ・子供たちの「火の用心」の復活
- ・高齢者の自動車・自転車で危険な運転が見受けられる。

3 班

- ・災害時における避難箇所が少ない。避難人数をまかなえる施設を。
- ・道路舗装が悪いため整備の実施。歩道が狭い。
- ・人工土地の市営住宅空き家について外観から見ても荒れ放題である。
- ・駅前通りの緑地使用目的は。
- ・昭和町の道が狭い。（東運河の道）
- ・猫の餌やりなどに対する適切な取り締まりを。
- ・いこいの家のトイレについて外部者が利用できない状態である。
- ・イオンがなくなり買い物が不便。
- ・通学路に歩道を。